

## 産卵台紙整理権の考案

誌名	蠶絲研究
ISSN	00364495
著者	高橋, 正 野尻, 邦雄
巻/号	84号
掲載ページ	p. 76-79
発行年月	1972年10月

## 産卵台紙整理框の考案

高橋 正・野尻 邦雄

著者ら<sup>1)</sup>はさきに、原原蚕種の採種に当り14蛾連続の産卵台紙、蛾輪、および収蛾箱を使用して採種作業の能率を高めたことを報告した。

その後、この方法により製造した蚕種を整理収容するための産卵台紙整理框を考案したので報告する。

本文に入るに先だち適切な助言と、本稿のご校閲をいただいた市川信一博士に感謝の意を表する。

### 試作の構想

産卵台紙整理框の試作の構想として最も重要視したことは、蚕病防疫上洗浄、消毒の効果をあげるために、木、竹材以外の資材で製作が容易であり、かつ製作費が比較的安価であることである。さらに蚕種に重圧を加えないために産卵台紙の積み重ねを避けること、また産卵状態、品種名その他を調査する際産卵台紙の出し入れが容易であることおよび框そのものを手軽に持ち運びができ、蚕種庫等に収納整理する際に、ある程度積み重ねが出来ること等を考慮した。

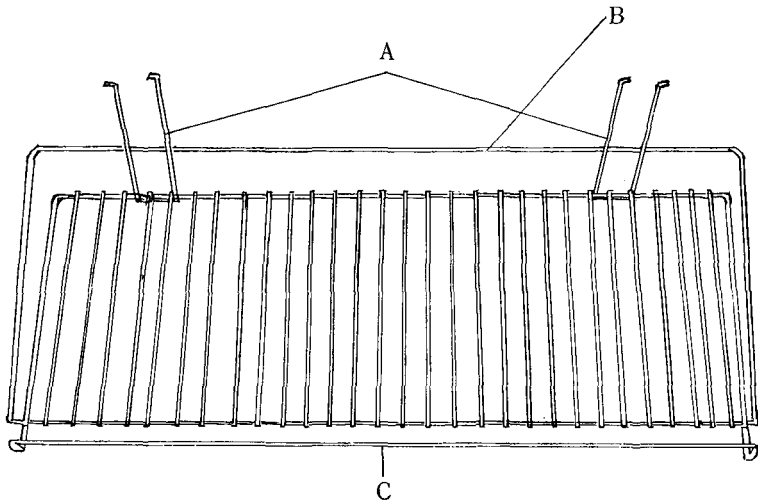
つぎに安価であるために市販されている製品を活用することとし、種々物色した結果第1図のようなハンガーボード大型棚を利用して組み立てることが適当と考えられたので、これを使って試作した。

### 工作および使用状態

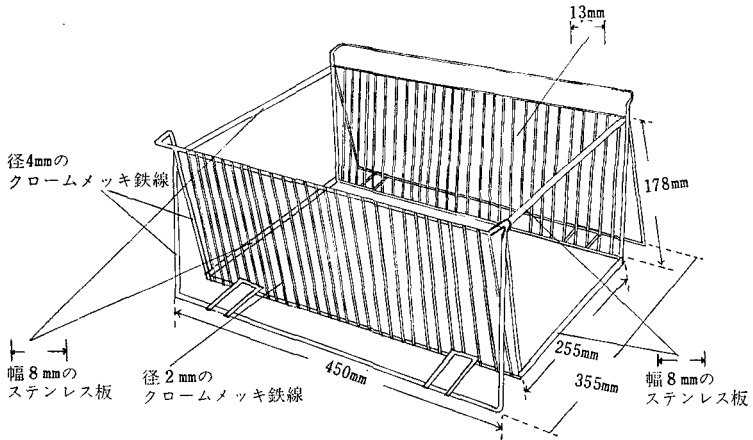
材料に用いたハンガーボード大型棚は、第1図に示すように家庭の台所、風呂場、洗面所等で整理整頓に使用されている品物で、外框は径4mm、棚の部分は2mmの鉄線にクロームメッキされたもので組み立てられている。

工作はつぎのようにした。まず第1図のA(棚を壁にとりつけるための部分)を切断したあと第2図のように直立させ、ステンレス板(#18.8厚さ0.4mm)を8mm幅に折り曲げて二重にした帯状のもの4本で棚2個を連結して箱状にした。

また第1図のB(外框の一方の部分)は平面に置いた際や積み重ねた際の安定をよく



第1図 ハンガーボード大型棚



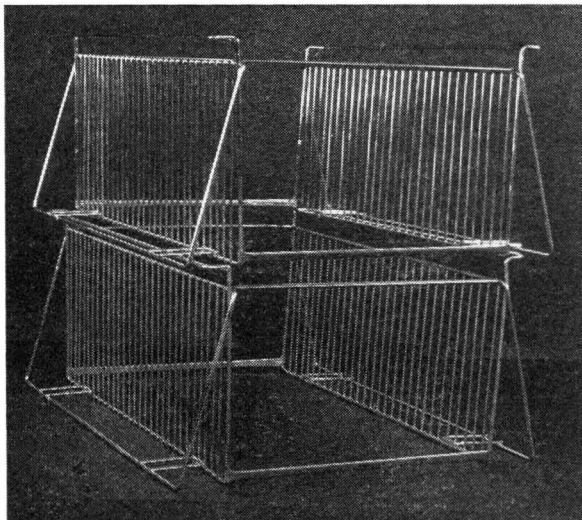
第2図 組み立てた産卵台紙整理框

するために利用し、C（外框のもう一方の部分）は整理框を持ち運びする際の手掛けとして利用した。（第3図参照）

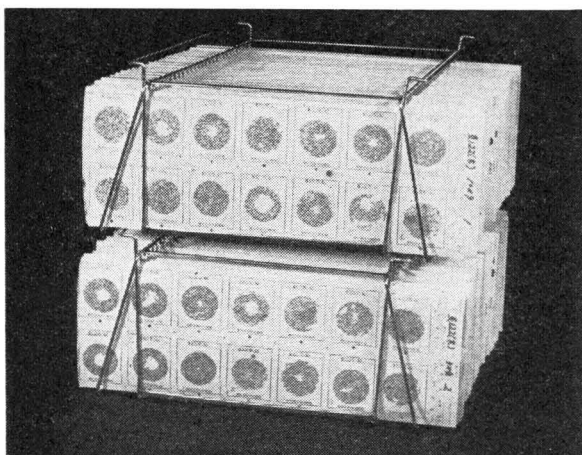
この整理框1個の重量は約1kgとなり、製作費は資材費600円、加工費250円、合計850円（昭和47年2月現在）であった。

使用方法は、14蛾連続台紙2枚宛を普通の種框と同様に一方の端から順次そう入して整理する。(第4図参照)その収容枚数は第4図に示すよう58枚(812蛾)であった。

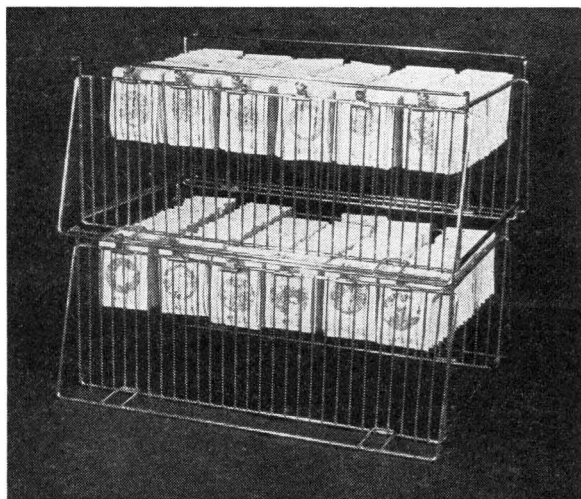
また蚕種を配布用として1蛾宛に切り離れたあとの整理には、従来使用していた自転車車輪のスポークに「小型紙ばさみ」を接着した「種さし棒」に1蛾宛とおして整理する方法を用い、第5図のようにこの整理框を兼用したところ、6列で約600蛾程度収容することができた。



第3図 産卵台紙整理框(2個積み重ねた状態)



第4図 14蛾連続台紙を整理した状態



第5図 1蛾採台紙を整理した状態

### 摘 要

- 1) 14蛾連続の産卵台紙を使用して製造される原原蚕種を整理収容するための整理框を試作した。
- 2) 整理框は安価なうえに蚕病防疫面を考慮し、市販の金属製のハンガーボード大型棚を2個連結して箱状にした。1個当り重量は約1kg、製作費は850円（昭和47年2月現在）であった。
- 3) この整理框は、1個に産卵台紙58枚（812蛾）収容でき、また産卵台紙の出し入れが容易であり、持ち運びや蚕種庫等に整理する際に極めて便利であった。なお1蛾宛切り離れたあとの整理にも使用でき約600蛾程度収容できる。

### 文 献

- 1) 酒田 保・高橋 正・中島晴海・野尻邦雄 1971. 蚕糸研究 (79): 99—104